

令和2年度 施策評価シート

1. ふじみ野市将来構想 from 2018 to 2030 における位置づけ

施策体系	分野	02 生きがい・文化・スポーツ ～うるおいのある豊かなまち～		
	施策	07 スポーツ ースポーツを通して市民が元気にいきいきと暮らすことのできるまちを目指しますー		
重点プロジェクト		元気・健康づくりプロジェクト		
主管課	市民活動推進部 文化・スポーツ振興課	評価責任者	本橋 直人	
		評価日	令和3年6月4日	
関連課	障がい福祉課、高齢福祉課、保健センター、公園緑地課、学校教育課			
目標	全ての市民が生涯を通して、気軽にスポーツに親しみ健康づくりに取り組むことができる機会の充実や環境整備を進めるとともに、スポーツを通じた地域の交流、コミュニティづくりを推進します。			
施策目標の実現に向けた取組	<p>(1) 子どものスポーツ機会の充実 ○乳幼児期からの発達段階に応じて子どもがスポーツに親しむことができる機会の充実を図ります。</p> <p>(2) 生涯にわたり誰もがスポーツに親しめる機会の充実 ○障がいのある人や、高齢者をはじめとする全ての市民へのスポーツ機会の充実と環境づくりを進めます。</p> <p>(3) 地域スポーツにおける人材の育成 ○ジュニア・アスリートの発掘・育成を進めるとともに、指導者、ボランティアの育成、技術力向上を図ります。</p> <p>(4) 安全なスポーツ環境の整備促進 ○スポーツ活動やスポーツ指導における安全性を確保するため、指導者の技術及び指導力の向上を図ります。 ○既存施設の有効活用、利便性の向上などスポーツ環境の整備を図ります。</p>			

2. 施策指標と達成状況

※網掛けの指標は前期重点プロジェクトに該当する指標です。

施策 目 標	指標 1	指標名	週1回以上スポーツをする19歳以上の市民の割合					
		説明	新型コロナウイルス感染症が拡大する中、ジョギングやウォーキングで運動不足を解消する市民が増え、割合が増加した。					
		単位	%					
	成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	-	44.60	47.30	50.00	52.70	55.40
		実績値	45.20	30.90	85.04			
	指標 2	指標名	障がい者のスポーツ事業への参加者数					
		説明	新型コロナウイルス感染症の影響により、市事業及び地域派遣事業が多く中止となったため、参加可能な事業の開催が実施できなかった。					
		単位	人					
	活動	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	160	190	220	250	280	300
		実績値	162	95	0			
	指標 3	指標名	スポーツ施設利用者の満足度					
		説明	4.5月は新型コロナウイルス感染症の影響で全ての施設を休館したが、6月以降は利用制限等を設け、感染対策を徹底し開館したことで、昨年度よりも満足度が向上した。					
		単位	%					
	成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	64.00	67.50	71.00	74.50	78.00	80.00
		実績値	55.40	50.10	50.50			
	指標 4	指標名	自治組織ラジオ体操実施団体数					
説明		新型コロナウイルス感染症の影響で、実施団体数は令和元年度より減少しているが、屋外で間隔を開け実施できるラジオ体操事業はコロナ禍でも引き続き実施を予定している。						
単位		人						
成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標値	0	0	13	15	17	19	
	実績値	8	11	8				
指標 5	指標名	新春ロードレース大会参加申込者数						
	説明	第16回は新型コロナウイルス感染症の影響で事業を中止した。						
	単位	人						
成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標値	1,960	1,960	1,960	1,960	1,960	1,960	
	実績値	1,912	1,897	0				

3. 施策への投入コスト

(単位：千円)

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
支出	事務事業費	609,369	79,536	57,701	81,956		
	人件費	26,718	37,355	40,272	35,921		
収入	特定財源	559,149	17,709	1,430	12,089		
	一般財源	76,938	99,182	96,543	105,788		

4. 評価対象年度の施策実施内容

※網掛けの指標は前期重点プロジェクトに該当する取組です。

		実施内容	実施実績と効果	主な事務事業
取組①	新春ロードレース大会	新型コロナウイルス感染症の影響で大型イベントの実施が難しいことから、オンラインでの開催や代替事業の実施を実行委員会を検討したが、前年度の参加者や近隣住民の方へのアンケート結果等を踏まえ、中止した。	令和3年度の実施に向け、密にならない開催方法やオンラインでの実施方法の検討を行った。	スポーツ大会事業
取組②	安全なスポーツ環境の整備促進	4.5月は新型コロナウイルス感染症の影響で全ての施設を休館したが、6月以降は、感染症対策を行った上で、利用制限等を設け、開館した。	感染者の発生事例等もなく、運動機会の減少している市民に対して感染対策を徹底し広く開館することができた。	スポーツ推進事業 スポーツ施設管理運営事業
取組③	ラジオ体操事業	イオン大井店や自治組織と連携し、様々な場所でラジオ体操を促進することで、コロナ禍で運動機会の減少している市民に、より身近な場所での運動機会を提供した。	イオンdeラジオ体操は7日間で1,282人、自治組織ラジオ体操では、8団体が実施し、延べ1,944人が参加した。イオンdeラジオ体操の参加者の1日平均は令和元年度172.5人、令和2年度183.1人と前年度を上回った。	スポーツ推進事業
取組④	地域派遣事業	市内小中学校や公民館事業等にスポーツ推進委員を派遣し、軽スポーツ（ボッチャ等）の普及を進めている。	派遣回数：3回 うちボッチャの派遣回数：2回 スポーツ推進委員の派遣を行うことで、市のスポーツ事業のみならず、多くの場所でスポーツの普及を行うことができる。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で派遣が減少している。	スポーツ推進事業
取組⑤	オリンピック・パラリンピック事業	新型コロナウイルス感染症の影響で令和3年度に延長となった、東京2020オリンピック・パラリンピック事業について、聖火リレーの警備計画やチケット販売計画を作成した。	組織委員会から示されたコロナ対策を基に、聖火リレーを安全安心に実施できるよう見直しを図った。	スポーツ推進事業

5. 評価

評価	
指標の達成状況	平成28年度から平成30年度まで積極的なスポーツ施設の基盤整備を計画的に進め、リニューアルした施設で様々な事業を展開し、周知・利用促進を行ったが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で4.5月は全ての施設を閉館した。6月以降は利用制限等を設けた上で、安全安心な施設運営に努めた。
行政資源の活用	また、令和3年度に開催を予定している東京オリンピック・パラリンピックを機に、パラスポーツの普及にも力を入れ、市のスポーツ事業のみならず、小学校での授業、自治組織単位での取組にスポーツ推進委員を派遣する地域派遣事業は継続的に推進していく。
おおむね適切	今後は、感染症対策や事業規模を縮小するなど事業の実施に向けた検討を行い、誰もがいつまでも親しめる生涯スポーツの推進やふじみ野から未来にはばたく人材を育成するとともに、整備した施設を多くの人に知っていただき、利用いただくよう、全ての人々が住みなれた「ふじみ野」で継続してスポーツに親しめるよう様々な事業展開を図っていく。
取組の有効性	
おおむね有効	
施策の効果	
効果が得られている	

令和2年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名	スポーツ推進事業		前年度の方向性	継続
重点プロジェクト	元気・健康づくりプロジェクト			
施策体系	分野	02 生きがい・文化・スポーツ ～うるおいのある豊かなまち～		
	施策	07 スポーツ ースポーツを通して市民が元気にいきいきと暮らすことのできるまちを目指しますー		
予算費目	一般会計 02総務費 01総務管理費 13文化・スポーツ振興費			
所管部課	市民活動推進部 文化・スポーツ振興課	評価責任者	吉村 敏世	
事務事業期間	平成17年度～	評価日	令和3年6月1日	
個別計画 根拠法令・条例等	スポーツ基本法、文化・スポーツ振興条例、ふじみ野市スポーツ推進計画			
事務事業の内容	事務事業の目的	日常生活に運動を取り入れる習慣をつくり、健康で生き活きとした生活が送れるよう市民の年齢、適正、健康状態等に応じたスポーツ教室や大会を開催し、スポーツを通して市民が元気にいきいきと暮らすことのできるまちづくりを目的とする。		
	事務事業の経緯	スポーツ基本法第4条の規定（地方公共団体の義務（自主的かつ主体的に、その地域の特性に応じた施策を策定し、及び実施する責務を有する。））及び将来構想「元気・健康づくりプロジェクト」並びにふじみ野市スポーツ推進計画に基づき、事業を実施している。令和元年度から、既存の「スポーツ推進事業」に「スポーツ団体支援事業」「入間地区社会体育推進事業」「ラジオ体操普及事業」を統合。		
	事務事業の概要	スポーツを通じた健康づくりの推進やスポーツの楽しさに触れる機会の提供として、幼児から高齢者、障がいのある方まで各世代が参加できる多様なスポーツ教室を開催するとともに、自治組織と連携して、地域でラジオ体操を行うことで、身近な場所での運動機会を提供している。 市のスポーツ振興を図るため、スポーツ団体の育成に取り組む母体への支援を行う。さらに、スポーツで活躍している市民に対し、交通費及び宿泊費の一部を補助している。		
	令和2年度の主な取組	【スポーツ事業の主な取り組み】 1シニア元気塾 2スポーツ推進委員地域派遣事業 3イオンラジオ体操 4自治組織向けラジオ体操支援 【新型コロナウイルス感染症拡大の影響により延期・中止した事業】 1元気・健康フェア 2スポーツカレッジ2020 3スポーツ指導者講習会 4スキルアップ教室 5ノルディック・ウォーク事業 6市外プール利用補助券交付事業 7入間東部地区駅伝競走大会 8オリンピック・パラリンピック事業 【スポーツ団体支援の主な取り組み】 1体育協会育成事業 2スポーツ少年団育成事業 3選手派遣費補助事業		

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和3年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	1.70	1.80	1.50
		人件費	13,563	14,503	12,086
	再任用職員	従事人数(人)	0.30	0.30	0.30
		人件費	1,154	1,591	1,591
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
	人件費計	14,717	16,094	13,677	
事業費	報酬※	1,623	83	198	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	425	490	2,005	
	委託料	338	0	2,600	
	使用料及び賃借料	54	4	192	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	8,334	7,432	15,071	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	788	474	2,475		
	支出合計	26,279	24,576	36,218	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	20	0	2,081
	一般財源	26,259	24,576	34,137	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		230	211	298	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	自治組織ラジオ体操実施団体数		
	説明	目標値：前年度実績より2団体増（東西各1団体増） ※令和2年度より設定のため、令和元年度目標値はなしとしている。（平成30年度実績：8団体 令和元年度実績：11団体）		
活動	単位	団体		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	0	13	15
	実績値	11	8	
指標 2	指標名	障がい者のスポーツ事業への参加者数		
	説明	目標値：令和5年度の目標（300人）を達成するために、段階的に参加者を増やす。（将来構想策定時に設定） 対象事業：令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため対象事業が中止となった。（元気・健康フェア、新春ロードレース大会、スポーツ推進委員派遣事業）		
活動	単位	人		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	190	220	250
	実績値	95	0	
指標 3	指標名	週1回以上スポーツをする19歳以上の市民の割合		
	説明	目標値：令和5年度の目標（55.4%）を達成するために、段階的に割合を高める。（スポーツ推進計画策定時に設定） 実績値：指定管理者による有料スポーツ施設を利用いただいた方へ無作為に実施した利用者満足度調査に基づく。		
成果	単位	%		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	44.60	47.30	50.00
	実績値	30.90	85.04	

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>【実施内容】</p> <p>1シニア元気塾 （1）実施：4日間（11月10・17・24日・12月1日） （2）参加人数：延べ99人</p> <p>2スポーツ推進委員地域派遣事業 （1）派遣回数：3回 （2）派遣内容：ポッチャ・高齢者向け体カテスト</p> <p>3イオンラジオ体操 （1）実施：7日間（8月4日～10日） （2）参加人数：延べ1,282人</p> <p>4自治組織向けラジオ体操の支援 （1）実施自治組織数：8自治体 （2）参加人数：延べ1,944人</p> <p>【新型コロナウイルス感染症拡大の影響により延期・中止した事業】</p> <p>1元気・健康フェア 2スポーツカレッジ2020 3スポーツ指導者講習会 4スキルアップ教室 5ノルディック・ウォーク事業 6市外プール利用補助券交付事業 7入間東部地区駅伝競走大会 8オリンピック・パラリンピック事業</p> <p>【効果】</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、予定していた多くの事業を中止することとなったが、ラジオ体操事業やシニア元気塾等、感染対策を講じて実施できるものもあった。ラジオ体操事業においては、1日の参加者数は令和元年度よりも多く、コロナ禍だからこそ必要とされている事業もあると感じた。オリンピック・パラリンピックについては、令和3年度に延期となったため、継続して準備を進める。</p> <p>【スポーツ団体支援】</p> <p>1体育協会育成事業 2スポーツ少年団育成事業 3選手派遣費補助事業</p>

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	東西のスポーツ施設が整備され、新たなフィールドで今まで以上に多様なスポーツ事業の展開を予定していた矢先に新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、多くの事業を中止することとなった。スポーツの在り方や、スポーツの必要性を問われる1年となり、幅広い世代が参加できる事業の企画を行う一方、参加者のターゲットを絞り、少人数でも感染対策を実施して行う事業も今後は進めていく。また、障がいのある方もない方も一緒に参加できるイベントの開催も進めていく中で、身近な場所で手軽に運動する機会のある場としてラジオ体操は、今後も広く推進していく。
中長期的方向性	
継続	

令和2年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名	スポーツ大会事業		前年度の方向性	継続
重点プロジェクト	元気・健康づくりプロジェクト			
施策体系	分野	02 生きがい・文化・スポーツ ～うるおいのある豊かなまち～		
	施策	07 スポーツ ースポーツを通して市民が元気にいきいきと暮らすことのできるまちを目指しますー		
予算費目	一般会計 02総務費 01総務管理費 13文化・スポーツ振興費			
所管部課	市民活動推進部 文化・スポーツ振興課	評価責任者	吉村 敏世	
事務事業期間	昭和43年度～	評価日	令和3年6月1日	
個別計画 根拠法令・条例等	スポーツ基本法、文化・スポーツ振興条例、ふじみ野市スポーツ推進計画			
事務事業の内容	事務事業の目的	幅広い年代、市内各地域が参加できる競技スポーツイベントとコミュニティ・スポーツイベントを開催することで、市民にスポーツ活動の楽しさと健康増進、体力の向上、コミュニティの推進を図る。また、競技スポーツ人口の増加を目指しながら、スポーツを通じて青少年から高齢者までの生きがいづくりの一助を担う。		
	事務事業の経緯	令和元年度から、「新春ロードレース大会事業」「市民スポーツフェスティバル事業」「市民スポーツ大会事業」を統合し、「スポーツ大会事業」となり、継続して当該事業を行う。		
	事務事業の概要	「新春ロードレース大会」は、毎年1月に開催し、老若男女問わず参加することができ、申込者数1,800人を超える市内最大のスポーツ大会である。平成26年度から市主催から実行委員会方式へ移行して実施している。 「市民スポーツフェスティバル」は、毎年10月から11月に、自治組織連合会を中心とした東地域と西地域の実行委員会に事業委託をし、地域スポーツの祭典として、開催している。 「市民スポーツ大会」は、毎年8月から翌年3月までの間に、ふじみ野市体育協会主催で、さまざまな競技スポーツを市民が自ら運営する大会である。		
	令和2年度の主な取組	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で「新春ロードレース大会」、「市民スポーツ大会」の2事業を中止し、東地域と西地域を統合し実施を予定していた、「オールふじみ野市民スポーツフェスティバル事業」を令和3年度に延期した。 市民スポーツ大会においては、感染対策を講じ、代替事業の実施を計画したが、感染拡大に伴い、準備途中で中止を決定した。		

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和3年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	1.30	1.24	1.20
		人件費	10,372	9,991	9,669
	再任用職員	従事人数(人)	0.30	0.30	0.30
		人件費	1,154	1,591	1,591
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
	人件費計	11,526	11,582	11,260	
事業費	報酬※	231	0	0	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	0	0	0	
	委託料	4,789	60	10,061	
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	737	0	0	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	195	0	564		
	支出合計	17,478	11,642	21,885	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	7,791
		その他	0	0	0
	一般財源	17,478	11,642	14,094	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		153	100	123	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	新春ロードレース大会参加申込者数		
	説明	目標値：申込定員数に対し100%の人数 実績値：新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止。		
活動	単位	人		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	1,960	1,960	1,960
	実績値	1,897	0	
指標 2	指標名	市民スポーツフェスティバル参加者人数		
	説明	目標値：前年度実績10%増（令和2年度目標値は平成30年度実績から算出） 実績値：新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、令和3年度に延期。		
活動	単位	人		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	4,981	4,980	5,478
	実績値	1,597	0	
指標 3	指標名	市民スポーツ大会の参加者数		
	説明	目標値：前年度実績1%増（大会参加者数） 実績値：感染対策を講じ、代替事業の実施を計画したが、感染拡大に伴い、中止。		
成果	単位	人		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	4,292	4,168	4,209
	実績値	4,127	0	

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>「新春ロードレース大会」 令和2年6月25日(木) 第1回実行委員会開催 【議題】オンラインでの開催検討、他市の実施状況 令和2年8月24日(月) 第2回実行委員会開催 【議題】前回参加者及びコース周辺住民への実施可否のアンケート結果、代替案の検討 →2回の会議及びアンケートの結果を踏まえ、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による中止を決定</p> <p>「市民スポーツ大会」 令和2年8月 5日(水) 総合開会式の取り止め及び大会中止を決定 令和2年9月17日(木) 体育協会との定例会にて中止した大会の代替での実施を検討 令和3年1月 8日(金) 緊急事態宣言の発令を踏まえ、協議の結果代替事業の中止を決定</p> <p>「オールふじみ野市民スポーツフェスティバル事業」 令和2年7月29日(水) 自治組織連合会役員会にて感染状況を考慮し、来年度への延期を決定 令和3年2月24日(水) 自治組織連合会役員会にて延期日時を令和3年10月10日(日)と決定 →現在は、感染対策を実施した上で、開催に向け実施方法、競技の検討を重ねている。</p>
------------------	---

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	1新春ロードレース大会 指定管理者と連携を図り、大会をさらに盛り上げるイベントを計画することで、参加者増を目指す。また、コース周辺の商業施設建設に際し、道路状況の変化に対応し、関係機関と協力し、安全な大会運営に努める。
中長期的方向性	2市民スポーツフェスティバル 「オールふじみ野市民スポーツフェスティバル」としてふじみ野市第2運動公園で開催し、競技に参加する市民や応援する市民等が会場のどこにいても楽しめる競技内容、イベントの計画に努める。
拡充	3市民スポーツ大会 関係機関と協力体制を築き、スポーツへの参加を啓発し、参加者の拡充に努めるとともに、市外からの参加チーム制限の緩和等を検討していく。

令和2年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名	スポーツ施設管理運営事業		前年度の方向性	拡充
重点プロジェクト	元気・健康づくりプロジェクト			
施策体系	分野	02 生きがい・文化・スポーツ ～うるおいのある豊かなまち～		
	施策	07 スポーツ —スポーツを通して市民が元気にいきいきと暮らすことのできるまちを目指します—		
予算費目	一般会計 02総務費 01総務管理費 13文化・スポーツ振興費			
所管部課	市民活動推進部 文化・スポーツ振興課	評価責任者	吉村 敏世	
事務事業期間	昭和50年度～	評価日	令和3年6月1日	
個別計画 根拠法令・条例等	スポーツ基本法、学校体育施設の開放に関する規則、学校体育施設開放運営委員会要綱、学校運動場照明施設の設置及び管理に関する条例、施行規則・ふじみ野市立スポーツセンター条例、施行規則			
事務事業の内容	事務事業の目的	生涯スポーツの普及及びスポーツ活動の場の確保、スポーツ施設の整備・充実を図り、利便性のあるスポーツ施設として市民に提供する。管理運営については、指定管理者制度を活用する。		
	事務事業の経緯	平成23年度に指定管理者の公募を行い、平成24年度より、スポーツセンターをはじめとしたスポーツ施設の管理運営を指定管理者制度により実施している。 小中学校の体育施設の開放においては、学校行事に支障のない範囲で貸出している。		
	事務事業の概要	平成24年度から指定管理者制度により(運動公園等含む)管理の移行し現在に至る。 毎月1回モニタリングを行い施設管理及び事業実施状況の点検等を行っている。 聖路加テニスコート、ゲートボール場等は、定期的に巡回を行っている。 学校体育施設を学校教育に支障のない範囲で市民に開放。毎月1回、翌月分の利用を各学校ごとに設置している学校体育施設開放運営委員会で学校行事や他団体活動が重ならないよう調整会議を行っている。		
	令和2年度の主な取組	スポーツセンターの拡充に伴う多彩なスポーツ事業(令和2年度より指定管理者が主体)を実施し、幼児から高齢者、障がいのある方など、だれもが気軽にスポーツを楽しむことができる機会を提供する。 スポーツセンター・運動公園等のリーフレットを作成し利用者への案内に活用する。また、ホームページにも定期的に情報を掲載する。		

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和3年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	1.20	1.30	1.10
		人件費	9,574	10,475	8,863
	再任用職員	従事人数(人)	0.40	0.40	0.40
		人件費	1,538	2,121	2,121
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
	人件費計	11,112	12,596	10,984	
事業費	報酬※	0	0	0	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	9,925	1,009	1,129	
	委託料	46,741	45,910	46,669	
	使用料及び賃借料	8	2,015	0	
	工事請負費	5,159	0	748	
	負担金、補助及び交付金	10	10	10	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	179	214	234		
	支出合計	73,134	61,754	59,774	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	473	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	12,440	837	989
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	5,159	0	748
		その他	90	120	480
一般財源	55,445	60,324	57,557		
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		485	519	502	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	スポーツ施設の利用率		
	説明	目標値：前年度実績2%増（令和2年度より設定） 実績値：総合体育館、上野台体育館（トレーニング室除く）、駒林体育館、弓道場、テニスコート、多目的グラウンドの6施設分の平均利用率		
成果	単位	%		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	57.40	52.30	57.10
	実績値	40.10	55.10	
指標 2	指標名	スポーツ施設利用者の満足度		
	説明	目標値：令和5年度の目標(80%)に合わせ満足度を段階的に高める。（将来構想策定時に設定） 実績値：指定管理者が実施しているアンケート調査で満足と答えた人の割合。（回答数：309人）総合体育館、上野台体育館（トレーニング室除く）、駒林体育館、弓道場、テニスコート、多目的グラウンドの利用者に対してアンケートを実施。（満足、やや満足を合わせると令和2年度実績は86.8%）		
成果	単位	%		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	67.50	71.00	74.50
	実績値	50.10	50.50	
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>【学校体育施設開放事業】 小中学校の体育施設の開放においては、学校行事に支障のない範囲で貸出しを行うため、毎月1回、翌月分の利用を各学校ごとに置かれている学校体育施設開放運営委員会で、学校行事や他団体活動が重ならないよう調整会議を行っている。緊急事態宣言発令に伴い、開放の中止や、開放時間の短縮等を行ったが、利用者に感染対策を十分に行ってもらい、運動機会の場の提供を目的として、可能な限り開放を行った。幼児から高齢者、障がいのある方など、市民のスポーツ推進を図る上で、地域でスポーツ活動ができる場所の提供として欠かせない事業となっている。</p> <p>【学校運動場照明施設】 学校運動場照明施設（大井東中学校）については、公共施設予約システムにおいて予約を受け付けて、申請及び料金の納入を文化・スポーツ振興課で実施した。 葦原中学校の照明施設は不具合のため、使用を中止した。大井東中学校、葦原中学校ともに、設置から約40年が経過しており、利用率の面からも、葦原中学校の施設を廃止とし、大井東中学校の施設をリニューアルすることとし、令和3年5月末までに設計を完了する予定である。 廃止及びリニューアルを実施することで、水銀灯からLEDに変わるなど維持管理経費の節減を図られるとともに、利用者により良い施設を提供することができる。</p> <p>【指定管理者】 令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策で、休館期間があったが、感染症対策を指定管理者とともに調整し、初めの緊急事態宣言解除以降、感染症対策を徹底したうえで、開館を続けている。また、指定管理者の自主事業についても、可能な限り実施をしている。 スポーツ施設等については、一体的管理運営のもと、新型コロナウイルス感染症対策を徹底するとともに安全・安心の管理運営を行い、全世代に向けた多彩な事業を展開することにより、市民一人ひとりに合わせた健康づくりに貢献する。</p>
------------------	---

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	平成29年度に総合体育館の整備が完了し、平成30年度には、テニスコートをクレーコートから砂入り人工芝へリニューアルし、アーチェリーも兼用できる遠的を備えた弓道場を新たに整備したことにより、スポーツゾーンの整備が完了した。今後は、これらのフィールドを存分にご活用いただき、併せて、誰もが住み慣れた地域で継続してスポーツに親しめるよう、市を始めとしたスポーツ協会、指定管理者等による多種多様な自主事業の実施が必要である。1年延期となったオリンピック・パラリンピックが、2021年に開催されることから、スポーツを通じた健康の増進と地域の活性化をより一層進めていく。
中長期的方向性	
継続	